

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 7 月 27 日(2022.7.27)

【公開番号】特開 2021-112460(P2021-112460A)
 【公開日】令和 3 年 8 月 5 日(2021.8.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-035
 【出願番号】特願 2020-7418(P2020-7418)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 19 日(2022.7.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の代表的な一形態では、遊技制御手段からの指令に対応して、制御可能な演出制御手段を備える遊技機において、遅延分岐命令による遅延分岐処理を包含可能なパイプライン処理を実行する CPU を備え、前記 CPU 自身のエラーである CPU エラー以外の当該遊技機のエラーである遊技機エラーが発生した場合に、前記遅延分岐処理によって、分岐先の処理で当該遊技機エラーを報知可能であることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

30

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技制御手段からの指令に対応して、制御可能な演出制御手段を備える遊技機において、遅延分岐命令による遅延分岐処理を包含可能なパイプライン処理を実行する CPU を備え、前記 CPU 自身のエラーである CPU エラー以外の当該遊技機のエラーである遊技機エラーが発生した場合に、前記遅延分岐処理によって、分岐先の処理で当該遊技機エラーを報知可能であることを特徴とする遊技機。

40